

高校生のための関なかサーチ 実施報告

■開催概要

日 時 令和4年8月22日(月) 9:30~15:00
場 所 せきてらす 及び 本町商店街
参 加 者 高校生 12名(関高6名、武義3名、関商工2名、加茂1名)
講 師 大学教員 4名(講師補助として大学生3名も参加)
開催形態 共催: 関市市民協働課、岐阜大学地域科学部
協力: 中部学院大学

■当日の様子

【午前の部】フィールドワーク



3チームに分かれて移動



孫六煎餅本舗



朱鷺乃屋



古民家あいせき



たけや



大学教員による講義

【午後の部】ワークショップ(まちあるきで得たことのまとめ)



グループワーク



発表

■参加者の声

- ・実際にフィールドワークをして、仲間と共に理解を深め、いろいろな意見が出て面白かった。
- ・関市について専門的な面から多くの知識を得ることができた。
- ・関市についてたくさん知れたし、大学の先生や大学生とも深く関わることが出来た。

■タイムスケジュール（詳細）

- 9：00 受付開始
- 9：30 イベント開始、関市の概要説明
- 9：40 3チームに分かれてフィールドワーク ※下記参照
- 11：30 大学教員3名による講義
- 12：15 昼食
- 13：00 ワークショップ
- 14：00 各グループの発表、講師による総括
- 14：45 市民協働課から若者事業紹介、アンケート実施
- 15：00 終了

■フィールドワーク（本町商店街）について

大学教授の専門領域に合わせて、チームごとにテーマを設定し、まちあるきをした。
各テーマ、訪問先、ワークショップで出た意見（抜粋）は以下の通り。

「本町商店街でのひとの居方・流れ方」 岐阜大学地域科学部 合掌顕 教授

訪問先：古民家あいせき（岐阜県関市本町7丁目13）

意見：施設の利用方法や中の様子が外からでもわかるほうが、利用しやすいのではないかと。子育て世代の人や高齢者が安心して利用できるような設備を置いたほうがいい。

「本町商店街での商店経営の在り方」 岐阜大学地域科学部 甲斐智大 助教

訪問先：孫六煎餅本舗（岐阜県関市本町3丁目6-2）

朱鷺乃屋（岐阜県関市本町1丁目28）

意見：商店街のシャッター開けるために、閉まっている理由を知る必要があるのではないかと。新しいことをするメリットが伝えられる環境づくりが大切だと思う。

「本町商店街での子育て世代の暮らし方」 中部学院大学人間福祉学部 水野友有 准教授

訪問先：たけや（岐阜県関市本町1丁目32）

意見：商店街は子ども会がないため、いろんな世代の子どもが集まれる場所をつくるといい。交通量が多く子どもが危ないため、歩道と車道の区別をわかりやすくできないか。

■アンケート結果

- ・ イベント内容について、12人中11名が「とても良かった」と回答した。
- ・ 参加理由（自由記入）は、「関市について知りたいと思ったから」「まちづくりに興味があるから」と答えた人が大半であった。
- ・ イベントを何で知りましたか？という質問に対しては、「高校でチラシを見て」「高校の先生から紹介されて」と回答した人が多かった。
- ・ イベント参加前後の変化について、関市に対するイメージが変わったと回答したのは9名だった。